

# 号外

# 琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

2012年(平成24年)

12月26日(水)

発行所 琉球新報社  
郵便番号 〒900-8525  
那覇市天久905番地  
©琉球新報社2012年

# 第96代首相に安倍氏

# 自公政権3年ぶり

# デフレ脱却最優先

自民党の安倍晋三総裁(58)は26日午後、衆院の首相指名選挙で第96代  
の首相に選出された。安倍氏は組閣に着手し、皇居での首相任命式などを  
経て、夜に公明党と連立の第2次安倍内閣を発足させる。自公両党は20  
09年衆院選で民主党に敗れた麻生内閣以来、3年3カ月ぶりに政権に  
復帰する。沖縄北方担当相には山本一太氏(54)が起用される見通し。

## 沖縄担当相は山本氏



山本一太氏

衆院選公約で掲げた「デフレ脱却と日本経済再生」の実現を最優先する。初閣議では、経済政策の司令塔となる「日本経済再生本部」を新設。通常国会に向け大規模経済対策として、12年度補正予算と13年度予算の編成を指示する。安倍氏は06年に首相に就任したが1年で辞任。一度退陣し再登板するのは故吉田茂元首相以来64年ぶり、戦後2人目。安倍氏は総裁選で争ったライバルを閣内に配し、党三役に女性2人を起用するなど来年夏の参院選に向け挙党態勢の構築を図った。

主要閣僚は副総理兼財務・金融相に麻生太郎(72)、官房長官に菅義偉(64)、法相に谷垣禎一(67)、外相に岸田文雄(55)、防衛相に小野寺五典(52)各氏。

### 安倍晋三氏の略歴

安倍 晋三氏(あべ・しんぞう)成蹊大卒。神戸製鋼所社員、父の故晋太郎外相の秘書官を経て1993年に衆院選初当選。官房長官、首相などを歴任した。58歳。山口4区、衆院当選7回(無派閥)



衆院本会議で首相に選出され、一礼する自民党の安倍晋三総裁=26日午後2時52分

# 防衛相に小野寺氏

## 環境原発 石原氏 総務 新藤氏

安倍晋三首相(58)は26日午後の衆参両院の首相指名に先立ち、環境相兼原発事故担当相に石原伸晃前幹事長(55)、防衛相に小野寺五典元外務副大臣(52)、総務相に新藤義孝元経済産業副大臣(54)、少子化担当相に森雅子元副幹事長(48)を起用する方針を決めた。稲田朋美元副幹事長(53)は行政改革担当相、環境相に内定していた山本一太氏(54)は再調整し沖繩北方担当相が固まった。

首相指名後、官邸で組閣に着手。皇居で行われる首相の任命式と閣僚の就任が固まった。

環境、原発事故 石原伸晃 55 衆⑧東京8区(石原派)

防衛 小野寺五典 52 衆⑤宮城6区(岸田派)

官房 菅義偉 64 衆⑥神奈川2区(無派閥)

復興 根本匠 61 衆⑥福島2区(岸田派)

国家公安、拉致問題 古屋圭司 60 衆⑧岐阜5区(無派閥)

経済再生 甘利明 63 衆⑩神奈川13区(無派閥)

少子化 森雅子 48 参①福島選挙区(町村派)

沖繩北方 山本一太 54 参③群馬選挙区(無派閥)

行政改革 稲田朋美 53 衆③福井1区(町村派)

副総理、財務、金融 麻生太郎 72 衆①福岡8区(麻生派)

総務 新藤義孝 54 衆⑤埼玉2区(額賀派)

法務 谷垣禎一 67 衆①京都5区(無派閥)

外務 岸田文雄 55 衆⑦広島1区(岸田派)

文部科学 下村博文 58 衆⑥東京11区(町村派)

厚生労働 田村憲久 48 衆⑥三重4区(額賀派)

農林水産 林芳正 51 参③山口選挙区(岸田派)

経済産業 茂木敏充 57 衆⑦栃木5区(額賀派)

国土交通 太田昭宏 67 衆⑥東京12区(公明)

※【初】は初入閣、数字は年齢、( )内は出身派閥、丸数字は当選回数。敬称略

首相を除く閣僚枠は18人。夏の参院選に向け挙党態勢の構築を図る。初閣議では、大規模経済対策として12年度補正予算と13年度予算の編成を指示する。

農相は当初、宮腰光寛元農水副大臣(62)で調整していたが、環太平洋連携協定(TPP)への反対姿勢が強く再検討した。入閣予定だった小淵優子元少子化担当相(39)はその後の調整で外れた。安倍氏は政権の要所にベテランや政策通を配して来

衆院議長に 自民伊吹氏 副議長は民主赤松氏 衆院は26日午後の本会議で、横路孝弘氏の後任議長に自民党の伊吹文明元幹事長(74)、衛藤征士郎氏の後任副議長に民主党の赤松広隆元農相(64)をそれぞれ選んだ。

自民党は衆院選圧勝を受け、当初、副議長も求めたが、民主党と日本維新の会が「副議長は第2会派から出すべきだ」と反発したため、譲歩した。

安倍政権で改憲手続きを定めた国民投票法を成立させたが、その後改憲論議は下火に。「60年以上の占領下で制定された憲法を国民の手に取り戻す」との持論を実現するには、再び首相になるしかない」と判断した。9月の党総裁選で周囲の反対を押し切り、出馬したの

は「やり残したことがある」との思いからだ。総裁就任からわずか3カ月弱で衆院選に圧勝し、政権奪還を果たした。ただ「自民党がきちんと期待にこたえているか、国民は厳しい目で見て」と分かってきている。党三役に初めて女性2人を登用し、脱派閥のアピールも図った。

来々年1月召集の通常国会に向け、12年度補正予算と13年度予算の編成に全力を挙げる。日米同盟再構築に向けオバマ大統領との会談も調整中だ。夏の参院選での勝利を自らの使命と位置付ける。

「安倍氏は26日午前、記者団に語った。22日には地元山口県長門市で、亡き父の安倍晋太郎元外相の墓前に誓いを立てた。「今度はしっかりと」

体調を崩し突然退陣してから5年、自民党の安倍晋三総裁は26日、再び首相の座に。「政権を投げ出した首相」との汚名返上に向けて再チャレンジの第一歩を踏み出す。視線の先に、悲願とする憲法改正があるのは間違いない。

「爽やかな気持ちでこの日を迎えた。挫折を含めて前回の経験を生かして安定感のある政権運営をしたい」。安倍氏は26日午前、記者団に語った。

22日には地元山口県長門市で、亡き父の安倍晋太郎元外相の墓前に誓いを立てた。「今度はしっかりと」

体調を崩し突然退陣してから5年、自民党の安倍晋三総裁は26日、再び首相の座に。「政権を投げ出した首相」との汚名返上に向けて再チャレンジの第一歩を踏み出す。視線の先に、悲願とする憲法改正があるのは間違いない。

「爽やかな気持ちでこの日を迎えた。挫折を含めて前回の経験を生かして安定感のある政権運営をしたい」。安倍氏は26日午前、記者団に語った。

22日には地元山口県長門市で、亡き父の安倍晋太郎元外相の墓前に誓いを立てた。「今度はしっかりと」

体調を崩し突然退陣してから5年、自民党の安倍晋三総裁は26日、再び首相の座に。「政権を投げ出した首相」との汚名返上に向けて再チャレンジの第一歩を踏み出す。視線の先に、悲願とする憲法改正があるのは間違いない。

「爽やかな気持ちでこの日を迎えた。挫折を含めて前回の経験を生かして安定感のある政権運営をしたい」。安倍氏は26日午前、記者団に語った。

22日には地元山口県長門市で、亡き父の安倍晋太郎元外相の墓前に誓いを立てた。「今度はしっかりと」

体調を崩し突然退陣してから5年、自民党の安倍晋三総裁は26日、再び首相の座に。「政権を投げ出した首相」との汚名返上に向けて再チャレンジの第一歩を踏み出す。視線の先に、悲願とする憲法改正があるのは間違いない。

「爽やかな気持ちでこの日を迎えた。挫折を含めて前回の経験を生かして安定感のある政権運営をしたい」。安倍氏は26日午前、記者団に語った。

22日には地元山口県長門市で、亡き父の安倍晋太郎元外相の墓前に誓いを立てた。「今度はしっかりと」

# 安倍首相 改憲にらみ再挑戦 「投げ出し」汚名返上へ



首相指名選挙が行われる衆院本会議に臨む自民党の安倍総裁(右)と石破幹事長(26日午後)